

第 62 年度（平成 27 年度）事業計画書

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

大阪府中央区道修町 3 丁目 1 番 8 号

公益財団法人 篷 庵 社

平成 27 年度事業計画

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

I. 事業の概要

本財団は、薬学等の進歩発展に資するため必要な研究を行うものに対し、研究の助成並びに研究費の援助を行い、もって薬学の発展に寄与することを目的として、主要事業およびこれに付帯する事業として以下の活動を実施する。

1. 研究助成金の交付

・「研究助成」は、本財団外部理事および外部評議員からなる推薦委員会で互選された推薦委員 5 名により推薦された、本財団の以下目的に適う研究者について選考委員会で審議、検討し、理事会で決定する。

(1) 優秀な素質を有するが、財源不足等のために研究の継続が困難である研究者

(2) 他からの助成を受けにくい薬学的な基礎研究を行なっている研究者

(3) 特に若手の独立前後で将来有望な研究者

なお、平成 26 年 10 月に実施された内閣府立入検査において、本研究助成推薦方法および選考方法について改善するよう指示があった。改善点については、今後、選考委員によって新たな方針を検討し、理事会、評議員会にて新案を決定し、平成 28 年度の研究助成者の選考（平成 27 年度に行う）より一部適用する。最終的には、平成 29 年度以降の研究助成者の推薦および選考（平成 28 年度以降に行う）より全面適用する予定である。

・「特別研究助成」は、公募による応募者を選考委員会にて選考し、理事会で決定する。応募者との直接の利害関係者は選考に加わらないよう選考内規に定めている。

2. 研究成果報告

・塩野義製薬株式会社 医薬研究センターにて、「第 34 回研究助成発表会」を開催する。また、成果報告書（論文等）の提出を義務付けている。

3. 助成の募集

・平成 27 年度「特別研究助成」の公募を行う。

II. 事業の内容

1. 研究助成金の交付

1) 研究助成（50 万円/件・年）：

4 年目：5 件、 3 年目：5 件、 2 年目：5 件、 新規：5 件

計 20件 計 1,000万円

2) 特別研究助成

(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県対象, 250万円/件・年):

2年目: 1件、 新規: 1件

計 2件 計 500万円

総計 22件 計 1,500万円 を交付予定

各助成金の交付先は【別紙1】の通り。

2. 第34回研究助成発表会の開催

平成27年7月31日(金) 午後1時から

於 塩野義製薬株式会社 医薬研究センター オーディトリウム
(大阪府豊中市二葉町3-1-1)

プログラムは【別紙2】の通り。

助成期間が終了した、平成23年度新規「研究助成」交付者および平成25年度新規「特別研究助成」交付者による研究成果の報告会を行う。

開催費: 230万円

3. 助成の募集他

平成27年度「特別研究助成」の募集テーマを決定し、公募する。
また、選考委員会を開催し、審議する。

これら公益目的事業推進費: 398万円

事業費総計: 2,128万円

以上

平成27年度研究助成金交付先一覧表

◆ (1件50万円×20件=計1,000万円)

助成	所属(申請時)	研究者	研究テーマ
4年目	広島大学大学院 医歯薬学総合研究科	佐々木 道子	立体化学的に不安定なキラルカルバニオンの合成化学への展開
4年目	静岡県立大学 食品栄養科学部	三好 規之	酸化コレステロール secosterol の生物活性機構解析
4年目	滋賀医科大学	小島 秀人	糖尿病性神経障害の治癒をめざす TNF- α の分子標的療法
4年目	名古屋市立大学大学院 薬学研究科	中川 秀彦	光制御可能な NO・活性酸素ドナー化合物の開発
4年目	大阪市立大学大学院医学研究科 分子病態薬理学	泉 康雄	超小型ミニブタを用いた新たな薬効評価系の確立
3年目	熊本大学大学院生命科学研究部 薬物活性学分野	香月 博志	加齢・生活習慣要因による視床下部機能の変調に関わる分子機序の解明
3年目	東京大学 工学系研究科	柴山 創太郎	「大学の企業化」による医薬品研究開発に対する影響の分析
3年目	昭和薬科大学	岡本 巖	動的活性制御を指向した環境応答型新規 <i>N</i> -アルキル芳香族アミドの創製
3年目	名古屋工業大学大学院 工学研究科	柴田 哲男	不活性結合活性化を伴うトリフルオロメチル化反応の開発
3年目	北海道大学大学院 先端生命科学研究院	比能 洋	筋ジストロフィー、多発性硬化症などの神経疾患に関与する <i>O</i> -マンノース型糖鎖修飾の合成化学的機能解明
2年目	京都大学大学院薬学研究科	竹本 佳司	抗多剤耐性結核菌活性を有する caprazamycin 類の合成研究
2年目	山形大学地域教育文化学部 食環境デザインコース	鈴木 拓史	希少糖(レアシュガー)の消化管吸収機構と小腸機能回復に与える影響
2年目	金沢大学医薬保健研究域 (薬学系)	加藤 将夫	有機カオチン膜輸送体の臓器疾患と薬物治療に及ぼす役割
2年目	東京大学大学院医学系研究科	浦野 泰照	蛍光プローブの論理的精密設計に基づく、細胞生命現象・ <i>in vivo</i> 微小がんイメージングの実現
2年目	鳥取大学医学部 分子薬理学分野	富田 修平	肺高血圧症に伴う血管リモデリングに寄与する低酸素応答性エフェクター分子の解析
新規	富山大学大学院医学薬学研究部 (薬学)	矢倉 隆之	グリーンケミストリーを指向した新規触媒の開発と応用
新規	京都薬科大学 生薬学分野	中村 誠宏	メディシナルフラワーを素材とした生体機能性成分の探索
新規	東京薬科大学 薬学部	矢内 光	強酸性炭素酸とその共役塩基に着目した新触媒の開発
新規	首都大学東京 都市教養学部 理工学系生命科学コース	安藤 香奈絵	神経細胞内ミトコンドリアの局在制御とその破綻による神経変性のメカニズム
新規	滋賀医科大学 薬理学	今村 武史	糖尿病病態因子による幹細胞障害の同定と治療法の試み

◆ 特別研究助成 (1件250万円×2件=計500万円)

助成	所属(申請時)	研究者名	研究テーマ
2年目	大阪大学微生物病研究所	山縣 一夫	メチル化 DNA 可視化マウスを用いた病態評価法の確立
新規	独立行政法人医薬基盤研究所 バイオ創薬プロジェクト	角田 慎一	蛋白質工学的手法によるサイトカイン-レセプター相互作用の複雑性の理解とその制御による革新的創薬

以上

第34回公益財団法人篷庵社研究助成発表会

日時：平成27年7月31日(金)13時00分から17時20分

場所：塩野義製薬株式会社 医薬研究センター オーディトリウム
(大阪府豊中市二葉町3丁目1番1号)

TEL：06-6331-8081【代表】

懇親会：同日、18時00分から19時30分

会場：塩野義製薬株式会社 医薬研究センター ラウンジ

13:00-13:05 ご挨拶 公益財団法人篷庵社 理事長 武田 禮二

演題 (講演25分、討論15分)

座長

13:05-13:45 1. 環境ニッチに着目した筋萎縮性側索硬化症の創薬ターゲット探索
三澤 日出巳 先生 佐藤 公道 先生
(慶應義塾大学薬学部 薬理学講座 薬理学研究室)

13:45-14:25 2. トランスポーターを基盤とする創薬と最適薬物療法に関する研究
玉井 郁巳 先生 辻 彰 先生
(金沢大学医薬保健研究域 薬学系 薬物動態学研究室)

14:25-15:05 3. 新規概念に基づくエナンチオ選択的触媒反応の創出と応用
笹井 宏明 先生 村橋 俊一 先生
(大阪大学・産業科学研究所 機能物質化学研究分野)

15:05-15:20 休憩

15:20-16:00 4. ベンザイン反応を基軸とする縮合複素環化合物の位置制御合成
赤井 周司 先生 北 泰行 先生
(大阪大学大学院薬学研究科 薬品製造化学分野)

16:00-16:40 5. 新規含窒素1,3-双極子の開発と応用研究
田村 修 先生 北川 勲 先生
(昭和薬科大学薬学部 薬化学研究室) 代理 北 泰行 先生

16:40-17:20 6. 《特別研究助成》
小員環炭化水素を構造素子とする創薬リード化合物の創製
高須 清誠 先生 塩野義製薬(株)
(京都大学大学院薬学研究科 薬品合成化学分野) 研究員

以上